金沢大学学域学生の大学院授業科目の履修に関する細則

（趣旨）

第 1 条　この細則は、金沢大学学則（以下「学則」という。）第 54 条の 2 第 2 項の規定に基づき、金沢大学学域学生（以下「学域学生」という。）が金沢大学大学院の研究科（以下「研究科」という。）の授業科目を履修すること(以下「先取履修」という。）に関し必要な事項を定める。

（目的）

第 2 条　先取履修は、研究科に進学を志望する成績優秀な学域学生に対し、研究科の教育課程の授業科目を履修する機会を提供するとともに、大学院教育との連携を図ることを目的とする。

（履修の資格）

第 3 条　先取履修ができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

(1)　学域最終学年に在籍し、研究科に入学を希望する者

(2)　成績優秀者として研究科が定める基準を満たす者

2　前項に掲げる者のほか、研究科長は、特に必要と認めた者に履修を許可することができる。

（履修科目）

第 4 条　先取履修ができる授業科目は、研究科において先取履修科目として定める科目とする。

（履修単位の上限）

第 5 条　先取履修の授業科目として履修することができる単位数は、入学を希望する研究科が指定する授業科目のうち、10 単位を限度とする。

（履修の申請）

第 6 条　先取履修を希望する者(以下「先取履修希望者」という。）は、大学院授業科目先取履修願（別記様式第 1 号）を、所定の期限までに所属学域の長（以下「学域長」という。）に提出しなければならない。

（履修の許可）

第 7 条　学域長は、前条の申請が先取履修希望者において、教育上有益であり、かつ課程の学修に支障がないと認める場合は、前条の大学院授業科目先取履修願に所定の書類を添えて、当該研究科長に推薦することができる。

2　研究科長は、先取履修を許可する授業科目を決定し、当該結果を大学院授業科目先取履修通知書(別記様式第 2 号)により、学域長を通じて先取履修希望者に通知するものとする。

（成績管理）

第 8 条　研究科は、先取履修の授業科目に係る成績評価を適切に管理するものとする。

（履修の取扱い）

第 9 条　先取履修により修得した単位は、先取履修希望者が研究科に入学した場合に限り、当該研究科における授業科目の履修により修得したものとみなし、研究科の定めるところにより、金沢大学大学院の課程の修了に必要な単位として認めることができる。

2　先取履修により修得した単位は、所属学域の修得単位に含めることはできない。

3　先取履修により履修する授業科目の単位数は、学則第 54 条に規定する履修科目として登録することができる単位数の上限の算出には含まないものとする。

（雑則）

第 10 条　この細則に定めるもののほか、先取履修に関し必要な事項は、学域又は研究科において別に定める。

附　則

この細則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この細則は、令和 5 年 3 月 1 日から施行する。

別記様式第1号（第6条関係）

大学院授業科目先取履修願

年　　月　　日

（履修を希望する研究科の長）

研究科長　殿

（申請者）

所　　属：

学籍番号：

氏名（自署）：

貴研究科の以下の授業科目を履修したいので，許可くださるようお願いします。

	専攻名	授業科目名	単位数	開講期
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

＊学務情報サービスから申請学期の前学期までの「成績表」を印刷し添付すること

申請者の履修計画・目的等

指導教員・アドバイス教員の所見
教員名（自署）

本学域所属の上記学生が，貴研究科の授業科目を履修することについて，教育上有益と認め，推薦いたします。

年　　月　　日

〇〇〇学域長

別記様式第2号(第7条関係)

大学院授業科目先取履修通知書

(申請者)

所　　属：〇〇学域〇〇〇学類

学籍番号：

氏　　名：　　殿

先に願い出のあった本研究科における先取履修について，以下のとおり審査結果を通知する。

	専攻名	授業科目名	単位数	開講期	審査結果
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

年　　月　　日

(研究科の長)

〇〇研究科長

(注)　1. 履修が許可された授業科目については，履修登録は不要とする。

2. 履修が許可された授業科目と学類の授業科目の曜日・時限が重複する等，特別の事情により履修を取りやめる場合は，必ず履修手続期間中に所属学域担当の学務係に申し出ること。

3　先取履修により修得した単位は所属学域の修得単位には算入されないので注意すること。